

2027年1月

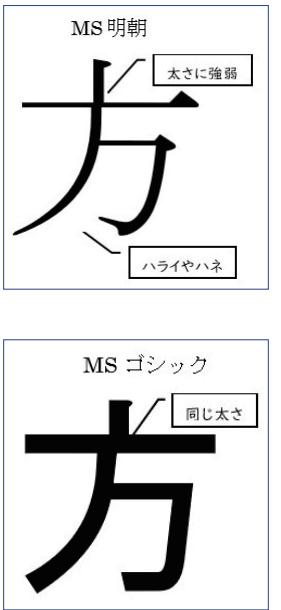
あけましておめでとうございます。今年も教室新聞をよろしくお願ひいたします。令和3年1回目は「フォント」についてです。文字デザインを意識してみましょう。

フォントって？

「**フォント**」とは文字そのもののことです。パソコンなどで文字入力して表示される文字は

1種類だけではなく、様々なデザインのものから選べます。この新聞の本文で使っているフォントは「ヒラギノ丸ゴシック」というデザインのものです。

よく使われるフォントは、「明朝体」「ゴシック体」「ポップ体」「：書体」です。



明朝体は文字の太さが違い、ハネやハイがあります。ゴシック体は文字の太さが同じで線の弱はあります。ポップ体はチラシによく使われる文字で、丸みがあり太めのマカーで書いたような文字です。：書体は楷書体、行書体などの筆文字です。その他にも様々なデザイン名がついたフォントが存在します。

また、文字の横幅が同じな「等倍フォント」、文字によって横幅が異なる「プロポーショナルフォント」があります。(MS明朝とMSP明朝では、どちらも同じデザインの文字ですがPがついている方は横幅の異なるプロポーショナルフォントです・上が等倍)

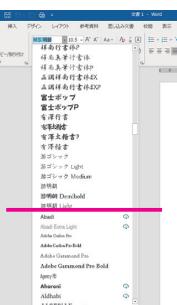
「**ワード**」などでフォントのメニュー一覧を確認すると、組み込まれているフォントが確認できます。フォントはどのパソコンでも同じものがセットされているわけではなく、機種やメーカーによってことなります。

(基本で使われるフォントは共通しています)

フォントを使い分けることによって、文書やチラシ、年賀状など表現も変わってきます。

また、フォントには、日本語に使えるものと、半角で入力したアルファベットや数字に使えるものがあります。ワードなどでフォント一覧を見るとアルファベット順に並んでおり、図のように分

かれています。半角入力されている文字には、それ以外用のものだけでなく、すべてのフォントが使えます。

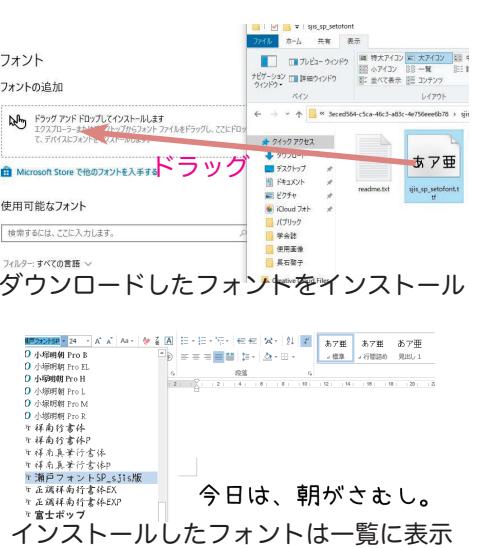


ラインより上が日本語用、下のアルファベット順に並んでいるものがそれ以外用

フォントを新しく加えるには

新しいフォントを加えるには、新しくフォントをインストールする必要があります。通常、フォントは購入する必要がありますが、ネット上で無料で提供されているフォントがありますので、それも利用できます。「フリーフォント」というキーワードで検索すると、様々なサイトが検索できます。そこから好みのフォントを見つけてダウンロードします。

ダウンロードしたフォントは、フォントの設定画面を開いて、インストールします。不要になったフォントも設定画面から削除できます。



フォントを使い分けて表現豊かな文書、資料などを作りましょう。

教室のWebページは左記アドレスから、スマート・携帯からは、QRコードからどうぞ。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>

